

# 花粉症の検査



アレルゲンの種類と程度を確かめる花粉症の検査。花粉症シーズン中にしていくといろいろなメリットがあります。小さいお子さんにも負担のない簡単な血液検査もあります。



## シーズン中に検査しておくメリットって？

### 1、思わぬ病気に発展する「こじらせ鼻炎」にならないように

かぜだからそのうち治るだろうと、アレルギー性鼻炎を放っておくと、粘膜の腫れが続いて副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎を起こしやすくなります。副鼻腔の腫れが引かなくなると肥厚性鼻炎と呼ばれる状態を招くことも。

こうなると治療に長い時間がかかり、場合によっては手術が必要になります。アレルギー性鼻炎と診断をつけ、適切な治療をすることが大事です。

●花粉症がいろいろな耳鼻科の病気の元になる！



鼻かぜだからそのうち治るはず

実はかぜではなく花粉症だとしたら...

副鼻腔炎  
中耳炎  
咽頭炎  
肥厚性鼻炎

粘膜が腫れたままなので  
を起こしやすい

### 2、アレルギーマーチの防止に役立つ

お子さんがアレルギー性鼻炎と気づかずに対策を何もしないでいると、**アトピー性皮膚炎や喘息などほかのアレルギーの病気に進む「アレルギーマーチ」**を招く可能性があります。原因をはっきりさせ、なるべく低年齢から適切な治療をスタートしてあげましょう。

### 3、根治の可能性のある治療法に備えられる

少しずつ花粉症のアレルゲンを摂取して体を慣らして花粉症の症状を抑え、根治も期待できる「スギの舌下免疫療法」。2014年前から始まり、効果を実感する方が目立ってきました。2017年からはダニの舌下免疫療法も始まりました。

スギに関しては、12歳以上で使える今の薬のほかに、**5歳から処方できる薬が2018年中に発売される予定**です。この薬は錠剤で1日1回の処方。常温保存でき携帯も楽です。使用開始にあたってはスギ花粉症の診断が必要なので、シーズン中に調べておくスムーズに治療を始められます。

### 4、対処方法が明確になり、ムダな薬の服用が避けられる

スギ花粉症と違ってアレルギー検査をしてみると、実はスギにはアレルギーがなかったということもあります。アレルゲンがわかると予防も治療も明確になり、ムダな薬を控えられます。



# アレルギーの検査はどんなふうに行うの？

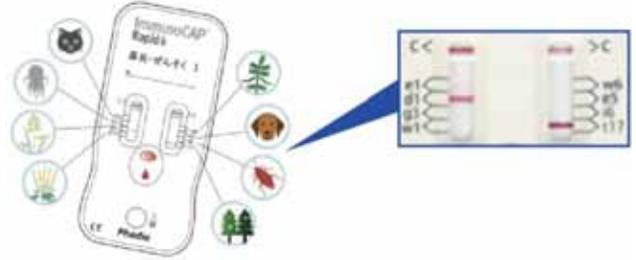
## 1、イムノキャップ／イムファストチェック

糖尿病の方が、毎日2回も3回も血糖値を図るときと同じやり方で、極細い針で指先を触ります。

指先からにじんだ血液で、3種類または8種類のアレルギー検査ができます。指先のサイズにより3種か8種、いずれかの検査法を選びます。

それほど痛みを感じないので小さいお子さんにも安心です。

簡単な検査ですぐに結果が分かります



イムノキャップ/イムファクトチェックで測定できるアレルギーは8種類

アレルギー検査結果報告書		
検査日	カルテNo.	
年 月 日		
お名前		
備考		
項目	陽性	陰性
判定		
ヤサヒコウヒダニ		
ネコ皮屑		
イヌ皮屑		
ゴキブリ		
スギ		
カモゴヤ		
アタラシ		
ヨモギ		

## 2、血液検査

健康診断を受けるときと同様の採血をします。

\*の数でアレルギーのクラスが示されます。多数の項目に\*がある場合は、レーザー治療も併用したり、舌下免疫療法を行うなど、結果に応じて治療方針を立てます。

## 3、スクラッチテスト

皮膚の上にアレルギーのエキスをたらして、赤くなった状態で判定します。

数分で判定できますが、皮膚への刺激が強いので行えない場合があります。



アレルギー性鼻炎とわかって治療をすると、いろいろメリットがあるんですね。

スギの舌下免疫療法をスタートできる6月までに検査しておく、スムーズにスタートできるので安心ですよ。

